

平成 30 年 6 月 6 日
電気化学会北陸支部

「若手の講演会」 (参加 20 名)

日時：5 月 31 日 (木) 20：30～23：00

場所：いこいの村 磯波風 (〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷 1-2)

講演題目：電気化学—超高真空複合装置を用いた固液界面の解析

講演者：脇坂 暢 先生 (富山県立大学)

北陸支部恒例企画である若手の会 (わかってんのかい) を開催した。若手研究者として、富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科の脇坂暢先生より「電気化学—超高真空複合装置を用いた固液界面の解析」のタイトルでご講演があり、参加者との議論および意見交換があった。超真空の定義やその必要性について説明があり、Pt 表面の酸化皮膜や OH の存在について電流密度や XPS データなどを用いて説明して頂いた。真空中で Pt 基板上的酸素と OH、水の存在挙動に関する内容は非常に興味深い内容であった。表面上の電子移動の確認や研究成果の活用に関する必要性など、説明途中に活発な議論もできており、非常に有意義な講演会となった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。



特別講演会 (参加 20 名)

日時：6 月 1 日 (金) 9：00～12：00

場所：いこいの村 磯波風 (〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷 1-2)

1. 「亜鉛空気電池を始めとする二次電池の研究動向について」
東京工業大学 物質理工学院 教授 荒井 創 先生
2. 「分光電気化学 - 光ファイバーセンサの開発」
富山大学大学院 理工学研究部 (理学) 教授 倉光 英樹 先生
3. 「富山大学の設備共同利用の促進 —設備サポートセンター整備事業—」
富山大学研究推進機構 准教授 小野 恭史 先生

最初の講演は、東京工業大学の荒井創先生より「亜鉛空気電池を始めとする二次電池の研究動向について」のタイトルでご講演が行われた後、議論および意見交換があった。現在の様々な電池がもつ課題について説明があり、高エネルギー密度のリチウムイオン電池がもつ低コスト化や安全性などの課題解決に向けて、全固体電池、ナトリウムイオン電池、リチウム硫黄電池、金属空気電池などの紹介があり、それぞれの有効性についてご講演された。そして引き続き2件目講演は、富山大学の倉光英樹先生より「分光電気化学 - 光ファイバーセンサの開発」のタイトルでご講演があった。最初に、環境化学科の組織などを紹介した後、富山県やバングラデシュの環境についてご紹介があった。また磁性マイクロ粒子の流動性物質への担持法、分光電気化学、光ファイバーセンサの開発についてご講演された。3件目の講演は、富山大学の小野恭史先生より「富山大学の設備共同利用の促進 - 設備サポートセンター整備事業 -」のタイトルでご講演があった。最初に、設備サポートセンター整備事業 - の主な内容についてご紹介された後、文部科学省が求める設備の整備・運用に関する内容のご紹介や学士によるスーパーユーザのご紹介など、普段聞けない内容が多く、大変大変興味深い講演会となった。



企業見学会 (参加 18 名)

日時：6月1日(金) 14:00~16:00

場所：日本曹達(株) 高岡工場 (〒933-8507 富山県高岡市向野本町300)

会社の概要と事業内容・製造品目、研究開発、RC活動などのご紹介があった。その後、巨大な塩山や電解槽などの現場見学もあり、製品の安定的な供給を実現する生産体制を整備していることが印象的であった。



以上